

ル(実務めて(61)

賞を受

酒井教授

がん予防

標的とし

分子標

び初めて

ため、国際

だ。

じた抗が

異常を診

際として

た。特に黒色腫患者に驚異的な薬効を示し、日本で発明さ

を18年間務めた。一緒にバイオリンを習って

る。励んでいきたい」と話して

エコ和歌山(田)ら受賞 共同開発の排水処理システム

田辺市稲成町の排水処理会社「エコ和歌山」と県工業技術センター(和歌山市)、オヤパイル(橋本市)が共同開発した排水処理システムが、大阪科学技術センター主催の「第3回ネイチャー・インダストリー・アワード」で技術開発委員会賞を受賞した。県

の地場産業である「パイル織物」を活用し、排水処理の過程で発生する余剰汚泥を大幅に削減することに成功した。ネイチャー・インダストリー・アワードは、動植物の構造など「自然の叡智(えいち)」を産業技術に応用することを目指した研究に取り組む若手を支援する事業。技術開発委員会賞は、実用化の可能性が高いことをポイントに審査される。

今回受賞したのは「食物連鎖を利用したパイル担体活性汚泥法(ESCAPE法)の開発」。産業排水の浄化槽の中に、微生物の「すみか」となるパイル織物を設置。温度や酸素の濃度を調整しながら、多種多様な微生物が生息しやすい環境を整える。通常ではなかなか発生しないイットミンスを多く保持するなど、食物連鎖の活性化を促す仕組みになっているという。

食品加工場で実証試験をしたところ、産業廃棄物となる余剰汚泥が83%削減された。産廃処理にかかる費用を大幅に減らせる上に、設置費用も従来より安く抑えることができるという。

すでに梅加工会社のほか、

魚加工会社や酒造会社にも導入している。

エコ和歌山の田中祐史社長(43)は「より安価で処理性能の良いシステムを普及させることで、海や川の水環境改善に貢献したい」と話している。

シオや庚申さんの講座

25日、上富田

熊野人倶楽部は25日午後1時~4時、上富田町朝来の上富田文化会館で「新春お宝公開講座」を開く。無料。

南紀熊野シオパーク推進協議会、紀伊民報後援。第1講は同協議会の学術専門委員、

スーパー定期預金店頭表示金利 (3日現在)	
紀陽銀行東京本部提供 (300万円以上)	
1ヵ月	0.025%
3ヵ月	0.025%
6ヵ月	0.025%
1年	0.025%
2年	0.030%
3年	0.030%
4年	0.030%
5年	0.040%
(300万円未満)	
1ヵ月	0.025%
3ヵ月	0.025%
6ヵ月	0.025%
1年	0.025%
2年	0.030%
3年	0.030%
4年	0.030%
5年	0.040%

- 田辺市
- 上屋敷
- 上屋敷
- お
- 新庄町
- (62)正
- 岩城茂
- 安宅27
- 小淵俊
- 山本とし
- 洋2丁目
- 龍之介
- 古久保秀
- 白浜町

神島男子が4強入り

女子の部に神島が進出。男子の神島は星林に52-41で勝利。上富田(紀陽銀行)が優勝。